

ロシア（極東）

経済概況

極東では、固定資本投資の減少傾向が続いている。2013年1～9月期の減少率は27.1%（対前年同期比）にも達した。マガダン州を除くすべての連邦構成主体で減少を記録しており、しかも軒並み二桁の減少率である。要因としてまず、連邦政府による投資の息切れが想起されるが、地域の固定資本投資総額に占める連邦財政支出の比率は、前年同期の12.4%から13.9%に上昇しており、実はその他の落ち込みの方が大きかったことが読み取れる。実数(名目値)で統計が出ている外国投資を見てみると、111億ドルから36億ドルへと急減している。外国投資すべてが固定資本投資に向かうわけではないので、短絡的に結論付けることはできないが、相当の影響を与えているものと推測される。

2013年1～9月期の極東地方の鉱工業生産は対前年同期比3.0%増で、ロシア全体がほぼ前年水準にとどまる中、比較的高い伸び率を示した。鉱工業生産の大きい地域の中では、沿海地方（11.6%増）の伸びが大きく、ハバロフスク地方（4.7%増）やサハ（ヤクーチア）共和国（4.5%増）も比較的好調だった。沿海地方では、自動車生産や電気機械の生産が伸びている模様だ。

これに対して、サハリン州は1.5%減少した。サハリン州は鉱工業生産に占める鉱業の比率が高い地域であるが、その鉱業が1.5%減少している。石油（コンデンセートを含む）が3.9%減、石炭が7.2%減などとなっていて、天然ガス及び随伴ガスの生産が2.6%増加しているものの、全体としては減少となった。

2018年までの極東・バイカル地域発展プログラム

2013年12月6日、従来の連邦特定目的プログラム「2013年までの極東・ザバイカル地域の社会・経済発展」の期間を延長し、地域を拡大（イルクーツク州を追加）した改訂プログラム「2018年までの極東・バイカル地域の経済・社会発展」が決定された（政府決定第1128号）。2011年に改訂鉱工業生産高成長率（前年同期比%）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	12・1-9月	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	6.3	6.8	0.6	▲ 9.3	8.2	4.7	2.6	4.0	3.1	2.9	0.0	0.1	0.1
極東連邦管区	4.2	35.1	▲ 0.2	7.6	6.5	8.8	2.8	1.0	0.3	2.6	▲ 1.9	1.8	3.0
サハ共和国	0.0	0.5	4.2	▲ 13.6	17.6	11.4	6.3	3.0	0.6	5.3	1.2	5.2	4.5
カムチャッカ地方	1.6	0.6	0.9	▲ 0.2	8.6	20.1	7.8	22.6	14.9	9.9	1.1	2.0	1.7
沿海地方	12.6	2.1	14.6	▲ 2.7	13.6	19.6	10.1	8.7	14.2	9.5	2.0	10.2	11.6
ハバロフスク地方	▲ 10.7	10.1	▲ 7.4	▲ 6.8	21.3	15.8	10.6	19.0	12.0	10.4	▲ 0.1	2.7	4.7
アムール州	4.7	2.6	11.4	11.4	0.1	25.6	2.0	▲ 1.1	▲ 1.1	2.3	21.0	16.1	11.5
マガダン州	▲ 11.2	▲ 9.0	2.1	5.8	3.3	7.7	7.7	32.5	11.0	15.1	10.9	5.8	5.3
サハリン州	31.1	2.3倍	▲ 9.2	26.6	0.0	2.9	▲ 3.4	▲ 6.7	▲ 4.9	▲ 3.2	▲ 7.4	▲ 3.2	▲ 1.5
ユダヤ自治州	4.2	22.7	18.6	▲ 18.8	2.3	4.1	5.0	▲ 3.4	▲ 5.8	▲ 0.2	5.6	▲ 1.9	▲ 1.6
チュコト自治管区	▲ 9.1	▲ 2.3	77.4	16.3	▲ 9.7	▲ 6.5	▲ 1.7	▲ 11.7	▲ 9.4	▲ 1.2	▲ 3.7	▲ 1.8	5.4

（出所）『ロシア統計年鑑（2012年版）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2012年）』；『ロシアの社会経済情勢（2012年3、6、9月；2013年3、6、9月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

訂作業を開始してから、2年以上を費やした。この間に、極東開発省が設置され、さらにその初代大臣のビクトル・イシャーエフ氏が解任されるという大きな出来事があった。2013年9月に着任した二代目のアレクサンドル・ガルシカ大臣が、大急ぎで取りまとめた形だ。

その内容を一言でいえば、地域版の運輸インフラ発展プログラムである。鉄道、道路、空港、港湾といった交通インフラ以外に盛り込まれているプロジェクトは、既存プログラムからの継続事業で2014年に完成予定の22万ボルト送電線（マガダン州）1件のみである。

分野別に事業費を見ると、総事業費6,969億ルーブルの4分の3が鉄道事業（5,234億ルーブル）に投入されることになっている。そのほか、道路事業に495億ルーブル、空港事業に737億ルーブル、港湾事業に465億ルーブルとなっており、交通インフラの中でも鉄道だけが突出している。金額のみならず、事業の重みの点でもアンバランスだ。

ウラジーミル・プーチン大統領は、2013年6月のサンクトペテルブルク経済フォーラムにおいて、国家にとって重要な3大プロジェクトの真っ先にシベリア鉄道及びBAM鉄道の改修・増強を取り上げた。事業期間の関係もあるので関連事業すべてではないだろうが、大枠としては大統領肝いりの国家プロジェクトが、地域インフラ整備を主眼とする本プログラムの中に落とし込まれたことになる。プーチン大統領は、このプロジェクトに対して国民福祉基金の資金を投入することにも言及してきたが、結果として1,500億ルーブル（場合によっては、さらに追加で260億ルーブル）が同基金から投入されることになった。

プログラム全体で、連邦財政本体から2,129億ルーブルが支出されることになっており、国民福祉基金分を合わせると事業費総額の半分以上となる。2013年までのプログラムでは連邦財政支出の比率は最終的に44%となったので、これと比べて連邦政府が積極的な役割を果たす姿勢を示した形にはなっている。

（ERINA調査研究部主任研究員 新井洋史）

固定資本投資成長率（前年同期比％）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	12・1-9月	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	16.7	22.7	9.9	▲15.7	6.0	8.3	6.6	16.3	11.6	10.3	0.1	▲1.4	▲1.4
極東連邦管区	2.3	18.9	11.7	7.1	6.1	21.4	▲14.8	▲8.4	▲9.2	▲3.6	▲21.5	▲20.9	▲27.1
サハ共和国	2.1	92.2	14.0	9.4	▲36.2	23.6	10.2	46.4	37.4	49.5	▲26.0	▲13.9	▲23.7
カムチャッカ地方	5.2	33.5	5.4	27.7	18.7	▲4.0	5.8	45.6	3.5倍	23.2	▲59.2	▲44.2	▲1.7
沿海地方	6.4	20.6	41.5	74.3	21.3	21.3	▲41.0	▲33.3	▲40.7	▲34.2	▲50.6	▲51.1	▲53.8
ハバロフスク地方	8.7	22.9	9.9	8.1	52.2	3.9	▲11.3	▲30.0	▲23.0	▲9.4	▲8.2	▲18.0	▲27.5
アムール州	5.1	38.9	24.1	▲11.4	19.5	36.1	▲20.0	▲26.3	▲39.2	▲28.1	▲14.5	▲2.1	▲17.6
マガダン州	23.9	28.7	15.1	▲0.2	▲0.1	0.8	21.3	48.3	50.1	53.2	72.2	32.5	17.2
サハリン州	0.3	▲18.1	▲5.4	▲24.6	11.2	36.6	▲8.1	23.1	31.7	16.1	▲3.4	▲11.2	▲13.8
ユダヤ自治州	▲1.2	20.3	4.5	▲16.3	2.0倍	28.8	▲11.5	▲50.8	▲39.5	▲12.2	▲69.1	▲55.0	▲62.1
チュコト自治管区	▲38.6	1.6	29.5	61.9	▲66.1	64.9	51.6	38.4	58.3	26.1	15.4	23.0	▲19.6

（出所）『ロシア統計年鑑（2012年版）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2012年）』；『ロシアの社会経済情勢（2012年4、7、10月；2013年4、7、10月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

小売販売額成長率（前年同期比％）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	12・1-9月	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	14.1	16.1	13.7	▲5.1	6.4	7.0	5.9	7.5	7.1	6.3	3.9	3.7	3.8
極東連邦管区	12.9	11.2	10.6	0.7	3.7	5.3	4.9	5.6	6.0	5.3	4.2	4.5	5.0
サハ共和国	8.6	7.4	7.6	2.1	3.6	2.7	2.6	2.6	1.8	1.9	0.9	2.4	3.0
カムチャッカ地方	10.8	12.8	9.4	1.6	3.1	5.0	2.1	2.5	▲1.0	▲0.7	0.4	0.2	0.2
沿海地方	12.9	11.8	9.9	▲2.3	2.2	3.5	4.2	8.2	9.2	6.6	5.6	7.3	8.9
ハバロフスク地方	13.3	15.3	7.9	3.6	6.2	6.4	4.9	1.7	3.2	3.5	5.9	5.8	5.1
アムール州	13.7	12.0	12.8	▲2.5	6.0	18.7	14.3	18.4	17.5	16.9	7.2	5.7	4.6
マガダン州	9.6	10.0	3.1	▲0.3	4.4	5.5	6.3	3.4	4.4	6.2	9.3	8.9	7.4
サハリン州	22.1	7.9	20.0	2.5	1.3	2.2	2.0	2.9	3.6	2.8	0.7	▲0.3	2.7
ユダヤ自治州	5.4	6.1	8.1	1.9	2.7	▲5.8	6.5	▲0.6	2.8	4.4	2.3	0.6	0.1
チュコト自治管区	6.4	12.9	55.9	3.2	8.2	1.6	▲10.7	▲11.0	▲7.9	▲11.8	▲5.0	▲8.2	▲8.1

（出所）『ロシア統計年鑑（2012年版）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2012年）』；『ロシアの社会経済情勢（2012年3、6、9月；2013年3、6、9月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

消費者物価上昇率（前年12月比％）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	12・1-9月	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	9.0	11.9	13.3	8.8	8.8	6.1	6.6	1.5	3.2	5.2	1.9	3.5	4.7
極東連邦管区	8.8	9.6	13.6	9.7	7.7	6.8	5.9	1.2	2.8	4.4	1.9	3.4	5.1
サハ共和国	11.9	9.0	12.5	8.2	6.0	7.0	5.4	1.1	2.3	3.9	1.6	3.0	4.8
カムチャッカ地方	11.6	10.1	14.8	10.7	10.2	5.8	5.6	0.6	1.5	4.0	1.0	2.5	5.1
沿海地方	7.1	9.7	13.5	9.5	7.0	5.6	6.0	1.6	3.3	4.9	2.1	3.4	4.8
ハバロフスク地方	8.7	9.8	14.1	9.5	8.1	7.9	5.4	0.9	2.7	3.8	1.9	3.5	4.9
アムール州	9.1	9.6	14.1	9.6	9.4	7.6	7.2	0.9	2.5	5.4	1.8	3.7	5.7
マガダン州	8.1	13.3	19.3	13.4	8.5	9.2	8.7	2.2	4.2	5.7	2.8	4.3	7.4
サハリン州	10.4	11.8	13.1	10.7	10.0	6.4	6.0	1.1	2.4	4.2	1.8	4.0	4.7
ユダヤ自治州	5.5	11.7	15.0	12.2	9.5	8.9	6.5	1.5	3.2	5.1	2.5	4.1	6.6
チュコト自治管区	11.2	7.5	9.9	17.2	1.4	5.4	6.0	1.9	4.6	4.3	2.8	2.9	3.9

（出所）『ロシア統計年鑑（各年版）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2012年）』；『ロシアの社会経済情勢（2012年3、6、9月；2013年3、6、9月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

実質貨幣所得成長率（前年同期比％）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	12・1-9月	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	14.1	13.1	3.8	1.8	5.4	1.1	4.8	3.0	3.6	3.8	5.0	5.2	4.2
極東連邦管区	12.1	10.6	3.4	4.0	3.5	1.5	2.6	4.4	5.2	2.6	6.1	5.7	4.9
サハ共和国	6.1	5.1	8.6	1.7	2.9	3.4	4.0	3.6	5.4	2.4	2.9	1.1	1.9
カムチャッカ地方	7.1	8.8	4.9	3.9	3.2	▲0.8	▲2.6	▲4.1	▲2.7	▲3.5	4.4	4.9	1.6
沿海地方	15.0	10.6	4.0	6.5	5.5	2.9	2.5	6.1	5.3	0.4	8.0	8.9	9.6
ハバロフスク地方	14.3	12.1	▲4.9	8.4	4.7	▲2.8	0.5	1.5	2.5	0.0	6.6	5.5	4.0
アムール州	10.3	19.6	11.5	▲5.5	0.4	12.9	13.9	27.6	29.7	27.8	4.0	3.6	0.3
マガダン州	9.1	6.8	1.0	2.5	3.8	▲2.0	8.7	10.8	6.9	5.9	2.0	7.2	0.2
サハリン州	14.1	12.4	6.8	▲0.6	▲2.2	▲3.1	▲2.2	▲4.8	▲3.5	▲3.8	11.9	8.5	9.4
ユダヤ自治州	8.3	5.5	12.0	4.7	3.5	▲3.2	3.2	▲7.0	0.5	0.2	0.6	1.5	▲1.1
チュコト自治管区	7.2	4.4	5.2	▲8.1	6.0	9.5	▲13.8	▲9.0	▲7.0	▲6.6	▲2.5	▲2.5	▲0.9

（出所）『ロシア統計年鑑（2010年版、2012年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2012年4、7、10月；2013年1、4、7、10月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

*斜体：速報値

平均月額名目賃金（ルーブル）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	12・1-9月	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月
ロシア連邦	10,634	13,593	17,290	18,638	20,952	23,369	26,822	24,407	25,476	25,686	28,788	27,339	29,044
極東連邦管区	13,711	16,713	20,778	23,158	25,814	29,320	33,611	30,444	31,700	31,907	35,608	33,876	35,643
サハ共和国	16,168	19,409	23,816	26,533	28,708	34,052	39,751	35,500	37,523	37,448	43,411	39,825	42,780
カムチャッカ地方	18,541	21,815	27,254	31,570	35,748	39,326	43,156	39,593	41,482	41,323	47,641	43,812	46,925
沿海地方	10,903	13,174	16,805	18,997	21,889	24,423	27,453	25,249	26,141	26,155	28,419	27,282	28,479
ハバロフスク地方	12,888	15,884	18,985	20,455	22,657	26,156	30,908	27,407	28,694	29,078	32,095	30,707	32,393
アムール州	11,111	13,534	16,665	19,019	21,208	24,202	26,859	24,130	24,840	25,359	28,797	28,037	28,875
マガダン州	17,747	22,102	28,030	32,657	36,582	41,934	51,061	45,630	47,944	49,286	55,374	52,797	54,848
サハリン州	18,842	23,346	30,060	32,626	35,848	38,771	44,453	41,995	42,802	42,710	46,509	45,792	47,269
ユダヤ自治州	9,529	11,969	15,038	16,890	19,718	22,928	25,244	22,933	24,095	24,256	26,117	24,869	26,160
チュコト自治管区	25,703	30,859	38,317	42,534	46,866	53,369	62,856	56,615	60,236	60,275	67,783	65,035	67,786

（出所）『ロシア統計年鑑（2010年版、2012年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2012年4、7、10月；2013年1、4、7、10月）』（ロシア連邦国家統計庁）。